



### 圧巻の勝利 ソフトボール部

2年ぶりの優勝奪回の命を帯びて出場した、県高校総体ソフトボール競技。苦戦したのは2回戦の千厩高校戦のみ。その他は、破竹の勢いで4回目のV奪還。

真夏の高校生憧れのステージ、インターハイへの出場を決め、これで今季は3度目の優勝。



### 日本郵便花巻より、ボール寄贈される

4月から約3ヶ月間、県内各地で繰り広げられた「第7回いわてユースサッカーリーグU-18」。本校は第2位と健闘。

その間、日本郵便の佐藤壽恵花巻支店長が来校され、年末年始のサッカー部員の支援活動へのお礼にと、サッカーボールを寄贈された。



### 甲子園，センバツに続いて夏も決める

勝っても当然という、たいへんなプレッシャーの中、14日間の熱い闘いを制したのは、やはり我が「はつらつ花巻東」。この大会終了まで、敢えて封印してきた「日本一への挑戦」へ向け、再発進。

選手も支援者も異口同音に「夏の甲子園に置き忘れてきた忘れ物を取りに……」と。



### 小さな親切運動で表彰される

球春を前にして便器を磨き、心を磨き、あらゆる困難に立ち向かう強い精神を養うため、ソフトボール部が花巻市日居城野運動公園公衆トイレ等を掃除して5年になる。

この度、その功績が認められ岩手銀行本店内にある小さな親切運動岩手県本部より、「小さな親切実行章」が贈られた。



### 県勢90年ぶりの準決勝進出決める

夏の甲子園のドラマは、まさに神だけぞ知る筋書きのない青春のドラマ。因縁を感じさせる長崎日大戦，師弟対決の横浜隼人戦，みちのく雌雄対決の東北高校戦，そして壮絶としか言いようのなかった明豊戦。全員が満身創痍で激闘の末、もぎ取った価値ある感動の大勝利。